

# 公益社団法人ガールスカウト日本連盟

2019 年度

事業計画・予算書



わたしが変わる。  
未来が変わる。

## 2019年度 ガールスカウト日本連盟 事業計画

### 日本連盟 使命：

少女と若い女性が自分自身と他の人々の幸福と平和のために、責任ある市民として自ら考え、行動できる人となれるようにする。

### 日本連盟 2020年のビジョン

すべての少女と若い女性が声をあげ、よりよい社会にするために行動を起こす

### ガールスカウト日本連盟 活動基本方針

#### ガールスカウトは

**少女と女性の視点に立って、より幸せな社会と未来の実現を目指し、リーダーシップを発揮できる人材を育成するとともに、社会に変化をもたらすチェンジエージェントとして行動します。**

ガールスカウトは自らが行動していく運動です。日本では100年前から「自分で考え、行動できる女性」を育てるノンフォーマル教育に取り組んできました。ガールスカウトの少女たちは、人との関わりを通して、さまざまな役割と活動を経験していく中で、豊かな人間性を身につけていきます。そして、自分の人生を自分で切り拓く力をもった女性に育っています。

私たちのこれからの挑戦は「女性とその可能性を最大限に発揮できる社会環境をつくりあげていく」ことです。そのために、少女と女性の可能性を伸ばすことを妨げる問題に対して声をあげ、社会に変化をもたらす行動を積極的におこない、貢献していきます。

使命、ビジョンを達成するために2018年～2020年の戦略計画を次のように決めました。2018年からの事業計画は、この計画に則って進めていきます。また、戦略計画は、日本のガールスカウトすべてで取り組むことにより、ゴールに近づきます。県連盟、団での取り組みを共に進めてまいりましょう。

## 2018－2020 ガールスカウト日本連盟戦略計画

### 戦略計画のゴール：

- ゴール1 少女と若い女性が能力を伸ばし、リーダーシップを発揮する機会をより多く提供する
- ゴール2 少女と若い女性が社会を変える力をつける

### 戦略テーマと目標：

テーマ	目標
① 運動にかかわる仲間の拡大	2020年に会員数4万人を実現する
② 社会に対するガールスカウトの「はたらきかけ」を拡大	2020年まで毎年100件、コミュニティに変化をもたらす「プロジェクト」を実施する
③ 活動を持続するための財政基盤の強化	2020年までに収支差額0円を実現する
④ 100周年事業を契機としたガールスカウト運動の強化	・現会員全員が100周年事業に参加する ・10万人のガールスカウト経験者が声をあげる

## 2019年度 事業計画

### 日本のガールスカウト運動 100 周年事業

2020 年は、日本のガールスカウト運動が始まって 100 年です。  
この年を、会員 4 万人で迎えることを目指します。

2019 年度は、「社会に変化をもたらすガールスカウトの姿を示す」ために、コミュニティアクション チャレンジ 100 アワードの対象を会員外へと広げます。また、社会に変化をもたらす仲間を増やすために、100 万人とつながるキャンペーンを通し、ガールスカウトに参加する人を増やすと同時に、社会に対してガールスカウトの認知度を高める活動に取り組みます。

100 周年プランを推進することで、ガールスカウト運動がこれまで培ってきたことをふりかえり、また新たに挑戦し、関わった人、これから関わる人のモチベーションを高めることを目指します。



事業名	期日・場所・内容など
コミュニティアクション チャレンジ 100 (CAC100) アワード	エントリー：随時受付 審査対象：3 月末時点報告 表彰式：2019 年 10 月 13 日（日） 2020 年 10 月 11 日（日）
100 万人とつながるキャンペーン	年間
100 年誌	2020 年 9 月完成予定
国際ガールズメッセ	2020 年 10 月実施に向け実行委員会の開催
インターナショナルキャンプ	2021 年開催に向け準備
100 周年バッジ	2019 年取り組み開始
100 周年に向けた資金調達活動（ファンドレイジング）	みらい募金：目標額 7,000,000 円 県連盟によるファンドレイジングの促進
100 周年特設ホームページ	2020 年 1 月 30 日（木）（1920 年に香蘭女学校で第 1 組の活動開始の日）オープン

## 教育プログラム

「リーダーシップ育成とチェンジエージェントとして行動する」を達成するために

- ・年少部門の良質なプログラムが実施できるよう、3つのポイントを意識し、育成目標が達成されるように情報を提供する
- ・年長部門からユース年代にかけて、社会に影響を与えるための能力開発プログラムを充実させる
- ・多様な価値観を理解し、行動できるようにする

特に、コミュニティアクション チャレンジ 100 アワードを推進し、少女と女性の視点に立ったよりよい社会となるような取り組みを進めます。

(注： **W** 世界連盟プログラム)

事業名	期日・場所・内容など
年少部門の教材開発	活動例検索システムの構築
レンジャー年代： 全国キャンプ	キャンプ名未定：(FBM*行動編) 8月5日(月)～8月8日(木) 戸隠ガールスカウトセンター(舎営) 30人程度
	キャンプ名未定：(VAV**) 8月12日(月・振)～8月15日(木) 戸隠ガールスカウトセンター(舎営) 30人程度
	キャンプ名未定 8月12日(月・振)～8月16日(金) 戸隠ガールスカウトセンター(野営) 40人程度
ユース年代： 国際イベント	事業名未定 2020年2月(期日未定) 沖縄県青少年交流の家(予定) 30人程度(高校3年生相当年齢～概ね25歳) *世界連盟から指導者を招き、英語でのプログラムを提供予定
ユースチャレンジプログラム	プログラムをウェブにて公開 取組みを促進する
地区シニア部門事業	地区に対し、FBM*又はVAV**をテーマとした活動に、1地区50,000円を助成
国際理解支援事業	海外研修渡航費補助：総額100万円
Greener×Greener II	環境プログラムの取り組みとして、年間・全国 国内の活動推進
<b>W</b> Stop the Violence (STV***) キャンペーン	VAV**パッケージプログラムの作成とその活用による VAV**プログラムの実施の促進 一般対象のプログラム実施

W Free Being Me (FBM <sup>*</sup> ) 第2段階	大好きなわたし、行動編のプログラムの実施促進 大好きなわたしプログラムを活用した一般対象プログラムの実施 都道府県連盟での指導者養成・育成
オリンピックバッジへの取り組み	団での取組の促進、世界での取組促進
防災・減災教育への取り組み	『めざせ防災マイスターアクティビティ集』を活用した団でのプログラムの促進 体験活動、一般を対象としたプログラムの実施
SDGs への取り組み	ガールスカウト活動の全活動を SDGs と連動させて実施 SDGs バッジ
ミャンマー連盟との協働事業	ユース年代対象 (Reach Out Project)
ワールドシンキングデイ	2020年2月22日(土)・全国 テーマ: Diversity, Equity & Inclusion
戸隠ガールスカウトセンターを活用した教育の実践	4月27日(土)～11月11日(月)
教材等の出版・販売	年間
プログラム開発特別委員会	年間
教育・指導者委員会	年間

注) FBM<sup>\*</sup>: Free Being Me      VAV<sup>\*\*</sup>: Voices Against Violence      STV<sup>\*\*\*</sup>: Stop the Violence  
STV と VAV の関係について: Stop the Violence キャンペーンは、少女に対する暴力をなくすキャンペーンで、世界連盟全体で取り組んでいます。このキャンペーンには教育プログラムがあり、Voices Against Violence みんなでつくる 差別と暴力のない世界プログラムがそれにあたります。日本連盟では、VAV で扱う 8 つの暴力の中にもある、デート DV について学べるように、独自に STV バッジを設けています。

## 成人のトレーニング

少女と女性のリーダーシップ開発と、チェンジエージェントとして行動する少女と女性を支援できるリーダー、トレーナーの育成・養成を充実させます。

(注：**W** 世界連盟プログラム)

事業名	期日・場所・内容など
トレーナー対象トレーニング (トレーナーセミナーの単元 を認定します)	11月30日(土)～12月1日(日) 国立オリンピック記念青少年総合センター
	9月14日(土)～9月16日(月・祝) 戸隠ガールスカウトセンター
	2020年2月1日(土)～2月2日(日) 大阪市立青少年センター KOKOPLAZA
	VAV アンバサダーフォローアップ研修 4月28日(日)～4月29日(月・祝) 国立オリンピック記念青少年総合センター
<b>W</b> Stop the Violence キャンペーン VAV 指導者研修会	東京都会場：6月29日(土)～6月30日(日) 青森県会場：10月26日(土)～10月27日(日) 富山県会場：11月16日(土)～11月17日(日) 鳥取県会場：11月16日(土)～11月17日(日) 奈良県会場：11月23日(土・祝)～11月24日(日) 兵庫県会場：2020年 2月8日(土)～2月9日(日) 東京都会場：2020年 2月29日(土)～3月1日(日)
ガールスカウトトレーナー 認定講習会・審査会	2020年1月12日(日)～1月13日(月・祝) 国立オリンピック記念青少年総合センター
プログラムトレーナー 認定審査会	2020年1月11日(土) ガールスカウト会館
トレーナー養成・育成勉強会	日程・会場調整中
性の多様性に対する対応につ いての研修	全国7会場で開催
海外研修本部派遣	WAGGGS プログラム(ジュリエットローセミナー、ヘ レンストローセミナー)等へ成人会員の派遣 第13回 AP 地域会議派遣
リーダーへの支援	教材開発 ホームページ充実
リーダー養成講習の開催	全国
リーダー養成講習・指導者研修 指導者派遣	随時
トレーナーへの支援	年間
成人トレーニング特別委員会	年間

## 組織と運営

都道府県連盟の現状を加味し、成果・課題の確認をおこない、年度ごとの課題解決に向けた取り組みを支援・促進します。

全会員対象の「Girl Scouts' News」を活用し、運動にかかわる仲間の拡大に努めます。

事業名	期日・場所・内容など
連盟長会議	11月9日（土）～11月10日（日） 国立オリンピック記念青少年総合センター 各都道府県連盟より2人
新任連盟長研修	6月16日（日） ガールスカウト会館
都道府県連盟支援	随時
顧問会	期日未定 ガールスカウト会館
評議員会	12月（期日未定） ガールスカウト会館
理事会・理事連絡会	理事会6回／理事連絡会6回
理事研修	9月7日（土）～9月8日（日） ガールスカウト会館
監査	5月6日（月・振） ガールスカウト会館
第91回定時総会	5月25日（土） ガールスカウト会館
第13回アジア・太平洋地域会議 代表派遣	8月12日（月・振）～8月16日（金） スリランカ
ガールスカウト推進議員連盟総会	未定
地域支援事業	年間 ガールスカウト運動を推進する事業
戦略検討特別委員会	年間
組織・運営委員会	年間
『Girl Scouts' News』vol.5、vol.6 発行	年2回 全会員対象
事務局の強化	年間



## 会員

100万人とつながるキャンペーン、【「おやこでチャレンジ」「春の体験集会」「ガールスカウトの日」】を軸に、多くの少女と女性のかかわりを深め、新規会員の拡大を図ります。また、現会員の継続率向上のため、ウェブ／SNSを活用した広報活動と連動していきます。

事業名	期日・場所・内容など
おやこでチャレンジ (秋入会促進事業)	全国
春の体験集会 (春入会促進事業)	全国
ガールスカウトの日の促進	全国
会員継続の支援	年間
会員データベースの活用	年間
会員の活動形態の検討	年間
表彰	功労章、永続奉仕章、感謝状等

## 社会との関係

社会に対し、ガールスカウトの統一したブランドイメージの発信、および、インターネット上での露出を増やすことを目的に、団・県連盟への支援をおこないます。外部からのアクセス増大や会員の利便性に配慮した公式ホームページの改善のほか、SNSなどを使い、認知度の更なる向上・拡大を進めます。社会とのコミュニケーションを一層深め、他団体・企業との協働を進めることで、社会への影響力を高めます。

事業名	期日・場所・内容など
社会への発信のための全国活動	5月22日(水) ガールスカウトの日 全国一斉で実施
	10月11日(金) 国際ガールズ・デー
	2020年2月22日(土) ワールドシンキングデイ
KIZUNA Day	2020年3月11日(水)
広報イベント／広報キャンペーン	年間
ガールスカウトのPR	年間
広報資料の作成	年間
ホームページ等の運営	年間
SNSの活用	年間
社会との連携	年間
他団体との連携	年間

## 財政

100周年事業のための資金調達と、日本のガールスカウト運動が持続可能となる財政基盤の確立を目指します。

日本連盟の財政計画については、第3次財政計画（2020－2022年）の策定および継続的な検討をすすめ、財政の健全化を目指します。

事業名	期日・場所・内容など
ガールスカウト会館の運営	年間
戸隠ガールスカウトセンターの運営	春期利用：4月27日（土）～7月5日（金）
	夏期利用：7月13日（土）～8月31日（土）
	秋期利用：9月1日（日）～11月11日（月）
助成金の獲得	年間
寄付金の拡大	一般寄付、みらい募金、戸隠募金、賛助会費、賛助会員トレフォイル等
戸隠を想う日	6月8日（土）
いこいこ戸隠 2019－戸隠大好き！ 大人の集いー	6月7日（金）～6月9日（日） 戸隠ガールスカウトセンター
グッズ販売事業	年間
賛助会員トレフォイルの集い	日程未定／大阪
財政検討特別委員会	年間
ファンドレイジング委員会	年間

## ガールスカウト日本連盟制定の日

名称	期日
ガールスカウトの日	5月22日（1988年～） 第二次世界大戦の勃発により一時解散しましたが、終戦後、子ども達から喜びや笑顔がなくなってしまったことを憂い、日本女子補導団時代の関係者が1947年（昭和22年）の5月22日に集まってガールスカウト運動を再興すべく、ガールスカウト中央準備委員会を発足させました。この日を記念して5月22日を「ガールスカウトの日」としました。
戸隠を想う日	6月8日（2016年～） 1958年（昭和33年）6月8日に清水総主事・三角主事・洲崎キャンプ委員長（いずれも当時）が戸隠を視察し、キャンプ場の場所を決定する契機となったことから、6月8日を「戸隠を想う日」として制定しました。先人の想いをつなげ、戸隠ガールスカウトセンター維持のために、6月を戸隠募金推進月間とします。
KIZUNA Day	3月11日（2014年～） 東日本大震災の日（2011年（平成23年）3月11日）を、防災の意識や技術を高めるとともに、震災の記憶や復興への思いを風化させない日として、3月11日を「KIZUNA Day」に制定しました。

以上

ガールガイド・ガールスカウト世界連盟 2020年のビジョン：

すべての少女と若い女性の一人ひとりが尊ばれ、世界を変えるために行動を起こす

ガールガイド・ガールスカウト世界連盟 使命：

少女と若い女性が責任ある世界市民として、自らの可能性を最大限に伸ばせるようにする

ガールガイド・ガールスカウト世界連盟 2018年～2020年グローバル戦略のゴール：

ゴール1：ガールガイド・ガールスカウト運動の基本理念に基づくプログラムや教育方法を通して、少女と若い女性が能力を伸ばし、リーダーシップを発揮する機会をより多く提供する

ゴール2：ガールガイド・ガールスカウト運動の基本理念に基づくプログラムや教育方法を通して、少女と若い女性が世界を変える力をつける

## 創始者ベーデン-ポウエル卿のことば

ガールスカウト運動の目的は、  
少女と若い女性を3つのHを持つ市民、すなわち  
心身ともに健康（Health）で、人に役立つこと（Helpfulness）に  
幸せ（Happiness）を感じることができる市民に育てることである。



ベーデン-ポウエル卿とオレブ ベーデン-ポウエル

## ガールスカウト日本連盟歴史的覚書

1920年、英国聖公会の宣教師で、東京の香蘭女学校に教師として赴任したミス・グリーンストリートが、英国で始まったばかりのこの運動を伝え、イギリス連盟の日本支部として活動が始まった。その後、全国の英国聖公会の教会や女学校を拠点にして活動が広まり、1923年に、ガールスカウト日本連盟の前身となる日本女子補導団となった。1928年ハンガリーで開催された第5回世界会議で、ガールガイド・ガールスカウト世界連盟の創設が決定し、日本女子補導団はその創設会員のひとつとなった。その後1939年まで世界連盟の会員であった。日本が第二次世界大戦へと進む中、この運動が国際間の友情をはぐくむことを目的の一つとしていたため解散を余儀なくされ、1942年に自ら解散することを決定した。

戦後1947年に、日本女子補導団当時のメンバーが、「日本の少女たちのための活動を」と再びこの運動を日本国内で始めるために集まり、GHQの支援も得て、アメリカ流の『ガールスカウト』という名称で再開し、ガール・スカウト日本連盟を結成した。1952年には文部省（現 文部科学省）の主管で社団法人ガール・スカウト日本連盟が発足した。

ガールガイド・ガールスカウト世界連盟へは、1952年1月に加盟申請を提出した。1952年8月、ノルウェーで開催された第14回世界会議で準加盟が認められ、1960年、ギリシャで開催された第17回世界会議で正加盟が認められた。

1966年、第19回世界会議が東京で開催された。

2012年、社団法人ガールスカウト日本連盟は、日本の法律改正により、公益社団法人ガールスカウト日本連盟へと移行した。

(ガールスカウト日本連盟 基本綱領 抜粋)